

安永八亥三月朔日

小堀和泉守様

口触

一家業にいたし候諸殺生ハ明八日より差免候間、此方支配中不残様可
触知者也

亥三月七日

右之通被仰出候、以上

惣代

安永八亥三月七日

乍恐御札奉申上候

一今度四ヶ所漁師札、先規之通御改被遊、御書御札数式拾六枚御渡被
成、難有頂候戴仕候、伏見御支配之内拾六枚、一口村・小倉村三枚
儘ニ奉請取申候、御札大切仕紛失不仕候様ニ入念、尤御進上毎年無
滞差上可申候、右御札乍恐口上書奉差上候、以上

安永八年亥五月廿六日

四ヶ村

漁師年寄

地方御役人様

乍恐奉願口上書

一私共儀横大路村漁師共ニ御座候、往古より京地斗川漁渡世ニ致来り
候得共、小川ニ而場所狭り渡世ニ掛り不申候付、淀領ニ離レ候橋本
小金橋迄之間、凡川上沓里斗伏見様川方御支配之内、小間物漁御免
被成下候様奉願上候、為御冥加耆ケ年銀壹枚つ、可奉差上候間、右

之段被為聞召届ケ被下候ハ、上々様方川漁等之節、御用等被仰付
候ハ、急度相勤可申候、御慈悲右願之通被為仰付被下候得者難有
可奉存候、以上

安永八亥年九月

横大路村

漁師共

御奉行様

覚

一今朝申遣し候どしやう御用ニ候間、随分はやく候様取寄セとの事ニ
付、早々取寄セ七郎八方江御越待入候、右之段申遣し候、已上

安永九子年二月三日

惣代

漁師年寄

彦左衛門殿

覚書

一御諸司代様伏見城山并ニ御船入御願見被遊候節、御船入ニて下木揚
ケ、漁御覽奉入奉候、御諸司代名ハまきノ備中ノ守様、伏見御奉行
様ハ小堀和泉守様、甚御諸司御儀けんも御覽被遊、右之節御酒代と
して金子頂戴仕有難奉存候、以上

天明式壬寅五月十八日

漁師年寄

彦左衛門

山林方 三輪源太左衛門様

山田順右衛門様

竹辺佐左衛門様

御用人大田垣伊右衛門様
御家老小堀権左衛門様

覚

一張網 壹束二付かせ糸掛目壹貫貳百目

此代百目二付、五百文かへ

一荒苧 苧貳百目、此代五百文かへ

百通すき手間、糸合手間共

此代貳貫文也

惣ノ八貫五百文也

寛政貳年戊五月

上役人

大嶋

岡田

覚

一張網 壹束二付、かせ糸掛目壹貫貳百文目也

此代六貫八百七拾貳文

但掛目百目二付五百七拾文かへ

苧掛目貳百目

此代五百七拾四文かへ

但掛目百目二付貳百八拾文かへ

百通すき手間、糸合手間共

此代貳貫貳百文

惣ノ九貫六百四拾文

文政三辰年二月

彈正町漁師

年寄六右衛門

江戸町長蔵

御札銀 山林方 四匁 上役 小泉

同 杉山

三匁 猪嶋

沢野

松尾

田村

ノ貳拾六(匁脱力)分也

貝取御ふれ書

大池表之儀者、三ヶ所漁師共往古より運上銀相納、第一之働キ場之所、
近來猥ニ相成、村々百性共小船を以貝取ニ事寄、品々之漁道具を以魚
漁いたし、下木杭杯を相荒候付、見付次第漁師共より差留候得共、夜
中又者早朝ニ罷越隠し漁いたし、漁師共業体ニ差支、運上銀納方響ニ
も相成り、難儀之旨願出候、右体百性共勝手俣ニ勿論之事不埒之事ニ
候、向後右体之紛敷漁業致間敷段、百性共江不洩様申付置、若不相用
者有之候ハ、当御役所へ早々可申出候、以上

安政三年

向嶋村

辰十二月廿五日

横嶋村内

西目賀

三軒家

伏見御役所

地方

小倉村

伊勢田村

同新田村

安田村

右村々

庄屋年寄

地方御役所江書上之写

彈正町分

一ざこ 百五拾荷 壹荷二付凡目方八貫匁

一ふな 三百七拾五荷 壹荷二付凡目方貳貫匁

一鯉 七拾五荷 壹荷二付凡目方壹貫七百匁

一うなき 五拾荷 壹荷二付凡目方五貫匁

一なまず 五拾荷 壹荷二付凡目方貳貫五百匁

メ七百荷

一口村分

一ざこ 三百九拾荷 目方前同断

一ふな 九百七拾五荷 目方前同断

一鯉 百九拾五荷 目方前同断

一うなき 百三拾荷 目方前同断

一なまず 百三拾荷 目方前同断

メ千八百貳拾荷

小倉村

一ざこ 六拾荷 目方前同断

一ふな 百五拾荷 目方前同断

一鯉 三拾荷 目方前同断

一うなき 貳拾荷 目方前同断

一なまず 貳拾荷 目方前同断

メ貳百八拾荷

三栖村分

一ざこ 百拾四荷 目方前同断

一ふな 貳百八拾五荷 目方前同断

一鯉 五拾七荷 目方前同断

一うなき 三拾八荷 目方前同断

一なまず 三拾八荷 目方前同断

メ五百三拾貳荷

右之通り安政三年辰年分凡之所地方御役所へ漁師四ヶ郷より書上可申

候事

安政四年

巳正月

年寄 五郎兵衛
組頭 吉兵衛

翻刻

従古来御札名順代々相続之旧家中古新株
夫々名寄并勤功申合等記 (No.11)

「内は後筆をしめす」

弘化二年

従古来御札名順代々相続之旧家中古新株
夫々名寄并勤功申合等記

乙巳五月

漁師
彈正町組

慶長六丑年二月三浦助蔵様河田平右衛門様より漁御札式拾三枚奉頂戴
候内

拾五枚 伏見漁師三拾人

外壹枚 宝曆八寅年増御札

都合拾六枚内 拾壹枚 彈正町 人数貳拾壹人
五枚 三栖 人数拾壹人

五枚 東一口村 五拾壹人

外式枚宝曆八寅年増御札

都合七枚

人数七拾四人

三枚

小倉村 貳拾五人

四ヶ郷

御札数合式拾六枚

御役所御帳面二

此銀七百拾七匁六分

伏見小倉一口漁師網役運上

但閏月有之年二者五拾九匁八分増

右之通御札慶長年中以来御支配代り度々御名御印御改相成奉頂戴来
候処、文化五辰年より同七巳年迄、伏見御役所京都町御奉行御支配二
而同八未年二月伏見御奉行本多大隅守様御改御渡被為成下候写

表

漁師式人舟壹艘船頭共

一たうあミ 一すまさ

一ちんとう 一した木

一ねらひ 以上

右之札銀壹ヶ月式匁三分宛如

先規伏見領豊後橋より下漁可仕者也

札数拾五枚之内

裏

文化八辛未年二月

伏見地方役所印

平戸町
代々相続 六兵衛
向島
同断 利兵衛

外二右之御文言ニ而、伏見分拾四枚名前如左、但名前順共前々より不相替

平戸町
代々相続 藤兵衛
七兵衛

同断 四郎兵衛
同町
但中古より五郎兵衛と改名
中絶 与三左衛門

彈正町
作右衛門
吉兵衛讓受
向島下之町
平戸町
代々相続 勘十郎
太郎右衛門

但中古より勘兵衛と改名

中古より太郎兵衛跡立

彈正町

相続 三右衛門
中絶 太郎兵衛

向島下ノ町
同町

代々相続 嘉右衛門
中絶 勘兵衛

彈正町

四郎右衛門
代々相続 弥兵衛

八郎兵衛跡立

同町

中絶 茂兵衛
中絶 長兵衛

彈正町
三栖

中絶 彦左衛門
清三郎

同町
同

代々相続 六右衛門
彦兵衛

三栖

庄助
喜左衛門

同
同

伊兵衛
与兵衛

三栖
三栖

